

ビルマ（ミャンマー）サイクロン被災地支援中間報告

2008 年 9 月 30 日

エフアジヤパン

2008 年 5 月にビルマ（ミャンマー）のイラワジデルタを襲ったサイクロンの被災者は 240 万人以上、死者・行方不明者 13 万 8 千人超、負傷者 2 万人弱といわれています。



エフアジヤパンは、被災者救援のパートナーとして、日本の NGO ブリッジ・エーシア・ジャパン（BAJ）を選び、自治労関係者からの救援カンパ金を託しました。BAJ を選んだ理由は、以下の通りです。

- 1) 1995 年からビルマ国内で、技術協力を中心とする開発事業を実施しており、多数（約 150 人）のビルマ人スタッフを擁している。軍事政権下で外国人の移動が制限されても、ビルマ人スタッフが活動できる。
- 2) 国連機関との連携事業も行っているため、国連機関との調整がスムーズに行える。（通常、途上国で大規模災害が発生した場合、国連機関が緊急援助の調整を行う）
- 3) ビルマ人スタッフの多く（約 6 割）が専門技術をもっており、復興に直接貢献できる。
- 4) 1993 年から 98 年にかけて、自治労現業局および国際局が、ベトナムに日本の地方自治体から提供を受けた中古パッカー車を 47 台送った際、BAJ が協力した。

エフアジヤパンから BAJ には、8 月 13 日までに 10,398,313 円を送金しました。

災害直後の緊急援助段階では、物資の配給が主な活動でした。5 月 30 日までに、BAJ は被災地の住民に以下の物資を配りました。

ボトル入り飲料水（1 リットル）	13,294 本
ろうそく	15,000 本
石けん	3,750 個
雨よけシート	959 枚
インスタント・ラーメン	3,780 袋
ビスケット	2,861 個
食用油	800 本
食塩	800 袋
衣類	465 枚



被災から約4カ月経過し、支援活動は、緊急物資配給から、通常の暮らしを取り戻す復興に替わりました。大人たちは生計活動に、そして子ども達は学校に通い始めています。

被災地の住民は、稲作を中心とする農業や漁業に従事しています。今回のサイクロンでは、多くの耕耘機や揚水ポンプ用のエンジン、またボートのエンジンが高潮のため水に浸かり使用できなくなりました。多くの技術者をかかえるBAJでは、被災地の村々で、移動修理所を開設し、エンジンの修理を行いました。2008年5月20日から9月15日までに修理した数は、335台です。この活動は、被災民の短期間での生計回復に大きく貢献しました。

被災した地域では学校が約4,000あり、屋根が飛んだり、半壊や全壊の学校がその半数くらいと予想されます。BAJは2008年6月より支援地区をエヤワディ管区の2地区、ミャウンミヤ・タウンシップとモールミャインジュン・タウンシップに絞り、学校の修復・再建活動を開始しました。この2地区では、サイクロンで約360校が被害を受けました。BAJは、2008年中に25校以上について、校舎の新築、屋根・壁・ドア・窓の修理、トイレの建設、机やイスの提供を実施する計画です。

筆者は、9月11日から14日まで、BAJスタッフの案内で復興事業の現場を視察しました。

9月11日(木) ヤンゴン～ミャウンミヤ間移動・学校修繕サイト視察

時間	活動詳細	移動	特記事項	9月15日時点の進捗状況
7:00-15:50	ヤンゴン～ミャウンミヤ間移動	車両		
16:00-16:30	ミャウンミヤタウンシップ教育局訪問	車両	教育局長のキンピョンニョー女史によれば、ミャウンミヤタウンシップに位置する学校全307校中、107校が全壊又は一部破損。	
16:45-17:00	ミャウンミヤタウンシップ、学校修繕サイト ヨーク小学校(ミャウンミヤ市内)視察	車両	生徒数:107名 教師数:6名 修繕箇所:屋根補修、雨どい取付け、窓&ドアの取付け、浄化槽&トイレ(3ユニット x 1カ所)建設	修繕完了
17:45-18:15	ミャウンミヤタウンシップ、学校修繕サイト クウェルウェ中学校(ミャウンミヤ市内)視察	車両	生徒数:1000名 教師数:31名 修繕箇所:トイレ(4ユニット x 2カ所)建設	30%終了



教育局長キンピョンニョー女史(中央)



クウェルウェ中学校:トイレ建設



ヨーク小学校



ヨーク小学校:窓とドアの取り付け

9月12日(金) ミャウンミャタウンシップ 学校修繕サイト視察

時間	活動詳細	移動	特記事項	9月15日時点の進捗状況
9:30-11:30	ミャウンミャ 学校修繕サイトへ移動	車両		
11:30-12:15	ミャウンミャタウンシップ、学校再建サイト アピインイエーサイ小学校視察	車両	世帯:210 人口:1000 以上 生徒数:250 名以上 教師数:6 名 70%終了 新規学校校舎(60 フィート x30 フィート)建設、トイレ(4 ユニ ット x 1 カ所)建設、学習机&椅子の提供	
12:15-14:00	ミャウンミャタウンシップ、学校修繕サイト ミンカークウィン中学校視察	ボート	世帯:200 人口:1000 生徒数:400 名 教師数:10 名 50%終了 修繕箇所:屋根補修、トイレ(4 ユニット x 2 カ所)建 設、窓&ドアの取付け、学習机&椅子の提供	
15:30-16:00	ミャウンミャタウンシップ、学校修繕サイト ザラクウイン小学校視察	車両	生徒数:120 名 教師数:2 名 90%終了 修繕箇所:トイレ(3 ユニット x 1 カ所)建設	



アピインイエーサイ小学校:校舎建設



ザラクウイン小学校:トイレ建設



ミンカークウィン中学校:トイレ建設



ミンカークウィン中学校:トイレ建設

9月13日(土) ミャウンミヤ〜モールミヤインジュン間移動（途中、学校修繕サイト視察）

時間	活動詳細	移動	特記事項	9月15日時点の進捗状況
9:00-11:00	ミャウンミヤから移動開始	ボート		
11:30-13:00	ミャウンミヤタウンシップ、学校修繕サイト カウエツ高校視察	ボート	世帯:210 人口:1100 以上 生徒数:679 名以上 教師数:16 名 修繕箇所:トイレ(4 ユニット x 1 カ所)建設、学習机 & 椅子の提供	30%終了
13:15-13:45	ミャウンミヤタウンシップ、学校修繕予定 サイト チュンティ小学校視察	ボート	世帯:115 人口:600 生徒数:256 名 教師数:9 名 修繕予定箇所:校舎建設、トイレ設置、学習机&椅子 の提供	修繕・再建予定箇所
14:30-15:15	ミャウンミヤタウンシップ、学校修繕予定 サイト モクスーマ小学校視察	ボート	世帯:55 人口:200 生徒数:256 名 教師数:9 名 修繕予定箇所:校舎建設、トイレ設置、学習机&椅子 の提供	修繕・再建予定箇所
15:15-18:30	モールミヤインジュンへ移動	ボート		



カウエツ高校:トイレ建設



モクスーマ小学校:住民との話し合い

9月14日(日) モールマインジュンタウンシップ 学校修繕サイト、移動修理所視察

時間	活動詳細	移動	特記事項	9月15日時点の進捗状況
8:00-10:00	モールマインジュン～チェツシャー間移動	ボート		
10:00-10:30	モールマインジュンタウンシップ、移動修理所 チャーホンヴィレゾトラクト、バデコ村視察	ボート	世帯:83 人口:320 ワークショップ期間:9月5～15日 修理台数:12台 完了	
12:15-14:00	モールマインジュンタウンシップ、学校再建サイト チェツシャー小学校視察	ボート	世帯:175 人口:719 生徒数:114名 教師数:3名 20%終了 新規学校校舎兼シェルター(60フィートx30フィート)建設	
14:10-14:30	モールマインジュンタウンシップ、モバイル・ワークショップサイト チェツシャーヴィレゾトラクト、チェツシャー村視察	ボート	ワークショップ期間:7月5日～9月15日 修理台数:127台 完了	
16:30-17:00	モールマインジュンタウンシップ、学校修繕予定サイト ゴンニンタン小学校視察	ボート	世帯:170 人口:692 生徒数:96名 教師数:3名 再建予定箇所 新規学校校舎建設、トイレ建設、学習机&椅子の提供等	
17:30-18:00	モールマインジュンタウンシップ、学校修繕予定サイト ミンカーコン中学校視察	ボート	世帯:300 人口:1000 生徒数:262名 教師数:7名 再建予定箇所 新規学校校舎建設、学習机&椅子の提供等	



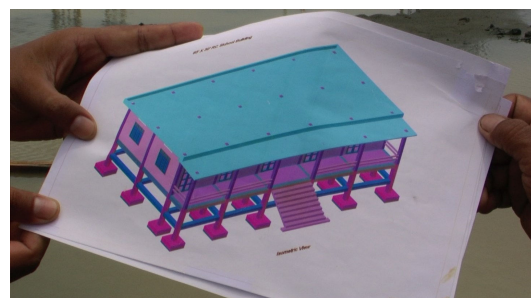
バデコ村:移動修理所



チェツシャー村:移動修理所



チェツシャー小学校:校舎兼シェルター建設



チェツシャー小学校:完成予想図



ゴンニタン小学校:現在の校舎



ゴンニタン小学校:現在の校舎内部



ミンカーコン中学校:倒壊した校舎跡地



ミンカーコン中学校:仮設校舎

今後、自治労本部が集約した救援カンパ金もB A Jに託し、復興事業を継続します。子ども達が通うための安全な学校校舎の建設や、他団体が実施していない農業用・漁業用エンジン修理活動の遠隔地への拡大を支援する予定です。

以上